

# 第12回 中国人の日本語作文コンクール表彰式

第12回 中国人の日本語作文コンクールの表彰式が12月12日(月)、日本大使館広報文化センターで行われました。このコンクールは第8回から中国日本商会も後援を行っており、一次審査には中国日本商会の会員企業の方もボランティアとして参加しました。表彰式には、中国日本商会 古場会長、五十嵐事務局長も来賓として参加しました。



最優秀賞(日本大使賞)の白宇さん



『訪日中国人、「爆買い」以外にできること--「おもてなし」日本へ、中国の若者からの提言』  
 第12回中国人の日本語作文コンクール受賞作品集  
 出版 日本僑報社 判型 A5判260頁  
 定価 2000円+税 発行 2016年12月12日  
 ISBN 978-4-86185-229-9 C0036



入賞者と来賓の記念撮影



一等賞入賞者と賞状プレゼンター (右から2番目 古場会長)



報道例：テレビ朝日  
[http://news-tv-asahi.co.jp/sphone/news\\_international/articles/000089904.html?google\\_editors\\_picks=true](http://news-tv-asahi.co.jp/sphone/news_international/articles/000089904.html?google_editors_picks=true)



学生時代の体験を踏まえた講評を話す古場中国日本商会会長

## 報道例： 「中国人の日本語作文コンクール」最優秀賞は22歳学生

北京=延与光貞  
 2016年12月12日23時12分  
 第12回「中国人の日本語作文コンクール」（主催・日本僑報社、メディアパートナー・朝日新聞社）の表彰式と受賞者のスピーチ大会が12日、北京の日本大使館で開かれた。首脳会談が実現するなど日中関係に改善のきざしがみえるなか、中国各地から過去最多の5190本の応募があった。  
 コンクールは日中間の相互理解促進を目的に2005年に始まった。今年のテーマは中国人訪日観光客による「爆買い」や「日本語教師の教え」など。最優秀賞（日本大使賞）には、日本語教師との出会いを通じて日本への気持ちが変わった体験を書いた蘭州理工大学の白宇（パイユイ）さん（22）の「二人の先生の実顔が私に大切なことを教えてくれた」が選ばれた。  
 今年、南京大学の大学院に進学し、日本語の翻訳を学んでいる白さんは表彰式で「チャンスがあれば、留学して自分の肌で日本を感じたい」とスピーチ。横井裕大使は「同世代の若者が交流を積み重ね、日中友好のために活躍されることを期待している」とあいさつした。  
 日本僑報社は3等賞までの受賞作計81本を作文集「訪日中国人 『爆買い』以外にできること」として出版。詳細は同社サイト（<http://duan.jp/jp/index.html> 別ウインドウで開きます）で。（北京=延与光貞）

以下、記載省略

<http://www.asahi.com/articles/ASJD95WF0JD9UHB1027.html>